

アイデア募集提案対象区域及び提案対象事業		
提案対象区域	うめきた2期地区	夢洲地区
提案対象事業	うめきた２期地区のまちびらき後に実現したい最先端の未来社会サービス	夢洲開発(建設工事)の安全かつ円滑な実施に寄与するサービス
区域概要	うめきた２期地区では、2017年に独立行政法人都市再生機構による公募を行い、三菱地所株式会社を代表とするグループ９社が開発事業者として決定。北街区に新産業創出と産学官民の交流ゾーンを、中央の都市公園には憩いと賑わいのゾーンを、南街区にはオフィス、宿泊、M I C E施設等を配置し、世界からのビジネス・観光を促す高度複合都市をめざしています。 提案対象区域内の主な用途は、都市公園、オフィス、ホテル、商業施設、新駅・駅前広場等となります。住宅棟は提案の対象区域外とします。	夢洲地区ではスマートリゾートシティをコンセプトに、「リゾート」と「シティ」の要素を融合させた空間を形成し、スマートな取組によってまちの連携が高度化された、国際観光拠点をめざしています。 夢洲のまちづくりは、第１期区域では統合型リゾート（ＩＲ）を中心としたまちづくりを行い、第２期区域では2025年の大阪・関西万博（以下、万博）開催を迎え、その後、万博の理念を継承したまちづくりを行い、第３期区域では長期滞在型のまちづくりと段階的に整備していく予定です。 夢洲地区においては、夢洲全域を提案対象区域とします。
	別図1参照	別図2参照
サービスイメージ	・来街者の健康データを本人同意のもと取得し、パーソナライズされたサービスを提案する「デジタルオーダーメイドサービス」 ・エリア内（街区や公園、道路等）の回遊性やラストワンマイルの移動快適性の向上に繋がるパーソナルモビリティ（電動キックボードや電動車いす等） ・ドローンや自動走行ロボット等による公園内・建物内への配送、警備 ・ICTを活用した公園やみどりの効果的な維持管理 ・最先端技術を活用した環境負荷の低減の取り組み　等 ※上記サービスはあくまで例示列举であり、幅広い分野での先端的サービスの提案を募集します	夢洲地区では、万博会場や関連するインフラ整備等の建設工事を円滑に行うことが求められています。 これらの建設工事の安全かつ円滑な実施のため、費用対効果を含め、実現可能なICT等を活用したサービスを提案ください。 提案いただくサービスは、現時点で技術的に実現可能なもの（または実現が見込まれるもの）を想定しています。 なお、提案には以下の内容を含むことが望まれます。 ・規制緩和により一層効果が得られること ・ウィズコロナ・アフターコロナ時代の建設工事の安全かつ円滑な実施に寄与すること ・建設工事で導入したサービスが、万博や夢洲開発において発展的に活用できること
	※うめきた２期地区における取組イメージにつきましては、別添『うめきた２期における取組（イメージ）』もご参照ください	